

2026年9月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月14日

上場会社名 株式会社NEXYZ.Group 上場取引所 東
 コード番号 4346 URL <https://www.nexyzgroup.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 近藤 太香巳
 問合せ先責任者（役職名） 専務取締役 管理本部長（氏名） 松井 康弘 TEL 03-5459-7444
 半期報告書提出予定日 2026年5月15日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無（動画配信のみ。）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年9月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年10月1日～2026年3月31日）

（1）連結経営成績（累計）（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期中間期	13,615	8.0	739	8.4	500	△25.0	737	685.8
2025年9月期中間期	12,612	16.0	681	129.2	667	133.5	93	—

（注）包括利益 2026年9月期中間期 △603百万円（—%） 2025年9月期中間期 843百万円（—%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期中間期	56.68	—
2025年9月期中間期	7.21	—

（注）潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在していないため、記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年9月期中間期	23,045	7,914	16.0	283.10
2025年9月期	24,387	8,028	17.8	332.81

（参考）自己資本 2026年9月期中間期 3,682百万円 2025年9月期 4,329百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2026年9月期	—	0.00	—	—	—
2026年9月期（予想）	—	—	—	20.00	20.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年9月期の連結業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

（%表示は、通期は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,000	16.1	2,000	9.9	1,900	9.0	950	2.9	73.03

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年9月期中間期	13,471,240株	2025年9月期	13,471,240株
② 期末自己株式数	2026年9月期中間期	463,387株	2025年9月期	463,057株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年9月期中間期	13,007,955株	2025年9月期中間期	13,008,820株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善により景気は緩やかな回復傾向にありました。一方で、中東情勢等の影響による資源エネルギー価格や原材料価格の上昇、金融政策の動向や為替変動等による影響から、依然として先行きは不透明な状況で推移いたしました。

GDP伸び率は、2025年10月～12月に 前年同月比0.3%増となりました。消費者物価指数(生鮮食品除く)は、前年同月比1.6%～3.2%の間で推移しております。

このような状況の下、当社グループでは、今後も成長が見込まれる「ネクシーズZERO」、「アクセルジャパン」の拡大に特に注力しております。

当中間連結会計期間においては、エンベデッド・ファイナンス事業、メディア・プロモーション事業の両事業で、全国の拠点と地域金融機関との連携を深めて営業活動に注力しております。

これらの結果、売上高13,615百万円(前中間連結会計期間比8.0%増)、営業利益739百万円(前中間連結会計期間比8.4%増)、経常利益500百万円(前中間連結会計期間比25.0%減)となり、親会社株主に帰属する中間純利益は737百万円(前中間連結会計期間比685.8%増)となりました。

当中間連結会計期間における報告セグメントの概況は次のとおりであります。

[エンベデッド・ファイナンス事業]

エンベデッド・ファイナンス事業では、設置工事費用を含めた初期投資オールゼロで、顧客に最新の省エネルギー設備等を導入できる「ネクシーズZERO」の提供、利用者獲得業務及び省エネルギー設備等の販売を行っております。

当中間連結会計期間においては、金融機関からの案件紹介が着実に増加しており、過去最高の推移となっております。商材としては店舗施設のLED照明への切り替えの安定した需要に加えて、業務用空調の受注が引き続き増加傾向にあるほか、工期が長く納品まで時間がかかる一方で、契約金額が大きいキュービクル式高圧受電設備の受注も着実に増加しております。

これらの結果、エンベデッド・ファイナンス事業は、売上高11,100百万円(前中間連結会計期間比10.7%増)、セグメント利益649百万円(前中間連結会計期間比10.1%増)となりました。

[メディア・プロモーション事業]

メディア・プロモーション事業では、企業プロモーション支援を目的として、インターネットを主とした各種サービスを提供しております。

当中間連結会計期間においては、タレントを起用した企業プロモーション支援プロジェクト「アクセルジャパン」において、金融機関パートナーとの連携が成果を出し始めており、新規契約の獲得が順調に回復しました。同時に、顧客満足度向上への丁寧なサポートにより、更新売上も着実に増加しております。そのほか、電子雑誌やECサポート等各種ソリューション業務においては、ECサポート関連売上は堅調に推移し、電子雑誌「旅色」の強みを活かした新たな取り組みとして、旅行プラン記事や旅行記事から直接宿泊予約が可能となる新機能の提供を開始しております。

これらの結果、メディア・プロモーション事業は、売上高2,469百万円(前中間連結会計期間比4.6%減)、セグメント利益545百万円(前中間連結会計期間比3.8%増)となりました。

[その他事業]

その他事業では、新たに法人向けグループウェアサービスの提供等を行っております。当中間連結会計期間においては、同サービスの新規顧客の契約が増加しております。

これらの結果、その他事業は、売上高70百万円(前中間連結会計期間比465.3%増)、セグメント利益5百万円(前中間連結会計期間比31.5%減)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

a. 資産・負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末の総資産は23,045百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,342百万円の減少となりました。

① 資産の状況

(流動資産)

流動資産は17,749百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,834百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が1,892百万円増加したことによるものであります。

(固定資産)

固定資産は5,296百万円となり、前連結会計年度末に比べて3,177百万円の減少となりました。これは主に、投資有価証券が3,164百万円減少したことによるものであります。

② 負債の状況

(流動負債)

流動負債は11,044百万円となり、前連結会計年度末に比べて18百万円の減少となりました。これは主に、未払金が249百万円増加した一方で、解約調整引当金が324百万円減少したことによるものであります。

(固定負債)

固定負債は4,087百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,209百万円の減少となりました。これは主に、長期借入金が458百万円、固定負債のその他が751百万円減少したことによるものであります。

③ 純資産の状況

当中間連結会計期間末の純資産合計は7,914百万円となり、前連結会計年度末に比べて113百万円の減少となりました。これは主に、非支配株主持分が532百万円、利益剰余金が343百万円増加した一方で、その他有価証券評価差額金が1,165百万円減少したことによるものであります。

b. キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」)の中間期末残高は10,340百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,893百万円の増加となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は275百万円(前中間連結会計期間は359百万円の収入)となりました。これは主に、投資有価証券売却益2,015百万円、売上債権の増加額778百万円があった一方で、税金等調整前中間純利益2,515百万円、貸倒引当金の増加額499百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は1,852百万円(前中間連結会計期間は65百万円の支出)となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出が58百万円があった一方で、投資有価証券の売却による収入2,015百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は235百万円(前中間連結会計期間は475百万円の支出)となりました。これは主に、非支配株主からの払込みによる収入856百万円があった一方で、長期借入金の返済による支出995百万円、非支配株主への配当金の支払額104百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年11月14日公表の「2025年9月期 決算短信」で公表いたしました通期連結業績予想に変更はございません。

なお、連結業績予想の将来予測につきましては、以下のとおりです。

[エンベデッド・ファイナンス事業]

エンベデッド・ファイナンス事業においては、業務用のLED照明、冷蔵庫、空調を中心として様々な設備を取り扱っております。商業、農業、工業の各種顧客のニーズに応じて商品の充実を図っております。また、地方銀行や信用金庫との業務提携を促進させて、提携金融機関経由の受注基盤を強化しております。営業人員は引き続き増員を見込んでいるほか、高単価商材の受注や国や地方公共団体の公共工事への入札も強化しております。

同事業では2025年9月30日付で、和歌山で長年の電気工事実績を持つ第一電機設備工業株式会社の株式を取得して完全子会社化しております。これにより、有資格者を増やし、電気工事分野の専門性も強化しております。引き続き当社にないノウハウや技術、顧客層を持つ企業のM&Aや業務提携も随時検討して事業領域を広げてまいります。

[メディア・プロモーション事業]

プロモーション支援業務につきましては、タレントを起用した企業プロモーション支援プロジェクト「アクセルジャパン」において、引き続き新規契約、更新契約を増やし、大幅な売上高増を目指しております。電子雑誌業務につきましては、主力電子雑誌「旅色」において、インバウンド対策の強化やニーズにあわせた新商材を柔軟に追加する多商材化戦略により、広告売上の更なる増加を目指しております。

ソリューション業務については、主力サービスである「ECサポートサービス」等の国内外での事業領域の拡大を図っております。

[その他事業]

その他事業につきましては、電気代の回収代行・既存顧客への窓口対応のみ行っており、影響は軽微と見込んでおります。

上記各事業の前提に基づき、主要事業であるエンベデッド・ファイナンス事業、メディア・プロモーション事業がそれぞれ引き続き伸長することで、増収増益を見込んでおります。

2026年9月期 通期連結業績見通し (2025年10月1日～2026年9月30日)

売上高33,000百万円

営業利益2,000百万円

経常利益1,900百万円

親会社株主に帰属する当期純利益950百万円

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,447	10,340
受取手形及び売掛金	2,890	3,668
リース債権	3,436	2,721
商品	486	765
未収入金	556	374
その他	1,107	1,199
貸倒引当金	△1,010	△1,321
流動資産合計	15,914	17,749
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	917	918
工具、器具及び備品(純額)	103	115
土地	53	53
その他(純額)	4	5
有形固定資産合計	1,080	1,093
無形固定資産		
ソフトウェア	121	129
その他	0	0
無形固定資産合計	121	129
投資その他の資産		
投資有価証券	5,832	2,667
敷金及び保証金	617	589
繰延税金資産	164	145
その他	949	1,151
貸倒引当金	△291	△480
投資その他の資産合計	7,272	4,073
固定資産合計	8,473	5,296
資産合計	24,387	23,045

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,446	2,245
短期借入金	1,100	1,100
1年内返済予定の長期借入金	1,812	1,775
未払金	665	914
未払法人税等	476	651
解約調整引当金	2,977	2,653
賞与引当金	415	236
その他	1,168	1,466
流動負債合計	11,062	11,044
固定負債		
長期借入金	3,907	3,449
その他	1,389	637
固定負債合計	5,297	4,087
負債合計	16,359	15,131
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	1,001	1,176
利益剰余金	2,170	2,513
自己株式	△900	△900
株主資本合計	2,371	2,889
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,955	789
為替換算調整勘定	2	3
その他の包括利益累計額合計	1,958	792
非支配株主持分	3,699	4,231
純資産合計	8,028	7,914
負債純資産合計	24,387	23,045

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
売上高	12,612	13,615
売上原価	6,316	7,144
売上総利益	6,295	6,471
販売費及び一般管理費	5,613	5,731
営業利益	681	739
営業外収益		
受取利息	2	7
受取給付金	5	—
その他	11	15
営業外収益合計	19	22
営業外費用		
支払利息	22	36
株式交付費	—	30
持分法による投資損失	—	165
その他	11	28
営業外費用合計	34	261
経常利益	667	500
特別利益		
投資有価証券売却益	—	2,015
特別利益合計	—	2,015
特別損失		
抱合せ株式消滅差損	6	—
特別損失合計	6	—
税金等調整前中間純利益	660	2,515
法人税、住民税及び事業税	120	621
法人税等調整額	263	254
法人税等合計	384	876
中間純利益	276	1,639
非支配株主に帰属する中間純利益	182	902
親会社株主に帰属する中間純利益	93	737

(中間連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
中間純利益	276	1,639
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	567	△2,244
為替換算調整勘定	△0	1
その他の包括利益合計	567	△2,243
中間包括利益	843	△603
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	391	△428
非支配株主に係る中間包括利益	451	△175

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	660	2,515
減価償却費及びその他の償却費	59	69
解約調整引当金の増減額 (△は減少)	97	△324
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△275	△179
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△620	499
受取利息及び受取配当金	△4	△8
支払利息	22	36
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△2,015
売上債権の増減額 (△は増加)	△138	△778
リース債権の増減額 (△は増加)	403	714
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△74	△275
立替金の増減額 (△は増加)	△23	△150
仕入債務の増減額 (△は減少)	△207	△200
契約負債の増減額 (△は減少)	230	486
未払金の増減額 (△は減少)	48	228
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△51	△83
預り金の増減額 (△は減少)	15	51
その他	510	190
小計	654	776
利息及び配当金の受取額	4	8
利息の支払額	△22	△36
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△269	△472
営業活動によるキャッシュ・フロー	366	275
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△1	△58
投資有価証券の売却による収入	—	2,015
有形固定資産の取得による支出	△29	△52
無形固定資産の取得による支出	△18	△33
敷金及び保証金の差入による支出	△11	△13
敷金及び保証金の回収による収入	14	37
その他	△17	△42
投資活動によるキャッシュ・フロー	△65	1,852
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	865	500
長期借入金の返済による支出	△859	△995
配当金の支払額	△259	△389
非支配株主からの払込みによる収入	—	856
非支配株主への配当金の支払額	—	△104
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△204	△5
その他	△16	△96
財務活動によるキャッシュ・フロー	△475	△235
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△174	1,893
現金及び現金同等物の期首残高	5,849	8,447
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	200	—
現金及び現金同等物の中間期末残高	5,876	10,340

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前中間連結会計期間(自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2024年12月20日 定時株主総会	普通株式	260	20	2024年9月30日	2024年12月23日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

当中間連結会計期間(自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2025年12月19日 定時株主総会	普通株式	390	30	2025年9月30日	2025年12月22日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注)1	中間連結 損益計算書 計上額 (注)2
	エンベデッ ド・ファイ ナンス事業	メディア・ プロモーシ ョン事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	10,016	2,582	12,599	12	12,612	—	12,612
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12	5	18	—	18	△18	—
計	10,029	2,588	12,617	12	12,630	△18	12,612
セグメント利益	590	525	1,115	8	1,124	△442	681

(注) 1. セグメント利益の調整額△442百万円には、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用が含まれております。

なお、全社収益は主に連結子会社からの管理業務受託料であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用及び各報告セグメントに配分していない人件費等であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき重要な事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	エンベデッ ド・ファイ ナンス事業	メディア・ プロモーシ ョン事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	11,091	2,457	13,548	66	13,615	—	13,615
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9	11	21	3	24	△24	—
計	11,100	2,469	13,570	70	13,640	△24	13,615
セグメント利益	649	545	1,195	5	1,200	△461	739

(注) 1. セグメント利益の調整額△461百万円には、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用が含まれております。

なお、全社収益は主に連結子会社からの管理業務受託料であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用及び各報告セグメントに配分していない人件費等であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき重要な事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。